



NISSAY
ASSET MANAGEMENT

週間市場レポート (2017年5月29日～6月2日)

マーケットレポート

2017年6月5日

投資情報室

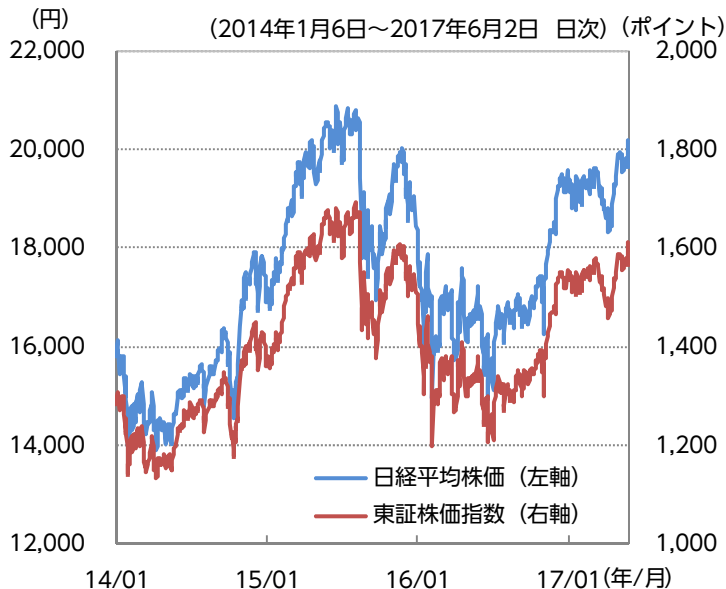
(審査確認番号H29-TB95)

(1) 日本の株式・債券市場

株式市場の動き

■ 先週の日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で上昇となりました。北朝鮮の弾道ミサイル発射を受けた地政学リスクの高まりや、イタリア政治やギリシャ債務問題などの欧州情勢への不透明感から週央までは続落となりました。週末は、堅調な法人企業統計の結果や米経済指標、円安の進行が好感され続伸し、およそ1年半ぶりに20,000円台を回復しました。（週末引け値：20,177.28円）

■ 週間では、日経平均株価は2.49%の上昇、東証株価指数は2.73%の上昇でした。



出所：ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

債券市場の動き

■ 先週の日本債券市場（10年国債金利）は、週を通じて特段目立った材料がなく、利回りは前週末比で小幅に上昇となりました（価格は下落）。週初は円高の進行による投資家のリスク回避姿勢の高まりから、買われました（利回りは低下）。週末は、日経平均の大幅な上昇が重荷となったものの、日銀が実施した長期債買い入れオペで一定の需要が確認されると買われ、前日比で利回りは低下となりました。（週末引け値：0.055%）

■ 週間では、10年国債金利は0.013%の上昇となりました。



出所：ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

●当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料のグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。●投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。●手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品をお勧めするものではないので、表示することができません。●当資料のいかなる内容も将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

(2) 米国の株式市場

市場の動き

- 先週の米国株式市場（NYダウ）は、前週末比で小幅に上昇となりました。週初は、原油価格の下落を受け、エネルギーセクター中心に売り優勢の展開となりました。週央以降は、堅調な経済指標や米企業決算、原油価格の上昇を受けて6月1日（木）、2日（金）連日で史上最高値を更新しました。（週末引け値：21,206.29ドル）
- 週間ではNYダウは0.60%の上昇となりました。

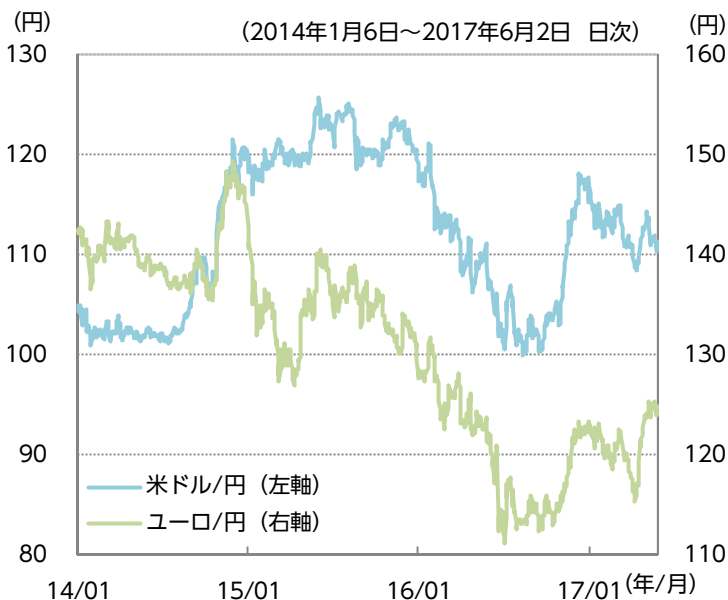


出所：ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

(3) 外国為替市場

市場の動き

- 先週の米ドル/円相場は、前週比で円高/米ドル安となりました。週初は3営業日ぶりに反落してスタートしたものの、イタリア総選挙の前倒し観測や米物価関連指標の伸び悩み等を受けて、週央は小幅に反発しました。良好な米雇用指標や日米株高を背景に、投資家のリスク選好姿勢が強まったことから、週末は円を売って米ドルを買う動きが優勢となりました。（週末引け値：110円35銭～45銭）
- 週間では米ドル/円は0.84%の円高、ユーロ/円は0.06%の円安となりました。



出所：ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

●当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料のグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。●投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。●手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品をお勧めするものではないので、表示することができません。●当資料のいかなる内容も将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。